

平成 29 年度公開講座 “助産師の専門的実践のために必要な知識・スキル”

受付：9：00 から

講義・演習：9：30～12：30

場所：医学部保健学科 研究棟 601 講義室

日付	講師	テーマ	講義内容
7月1日	鹿児島大学医学部 教授吉留厚子	あなたは接遇ができていますか	「接遇」は大事なことは誰もが思っていますが、学校で接遇を勉強したことがありますか。医療を受ける患者の意識が昔とは違っています。入職後に接遇に悩んだという話を聞きますし、医療機関は選ばれる時代になり、ますます医療従事者に求められる接遇が重要になってきました。この講座では接遇の基礎を中心に学んでいただきたいと思います。
7月8日	鹿児島大学医学部 教授沖利通	助産師に役立つ漢方の考え方	東洋医学的な簡単な診断方法(視診・舌診・脈診・腹診)を概説し、妊娠前から妊娠成立・妊娠初期の東洋医学的所見の特徴を述べます。さらに、妊娠・産褥期に役立つ漢方処方述べる予定です。
7月22日	鹿児島大学医学部 教授中尾優子	学生や新人スタッフのやる気スイッチを探してみましよう	世代の異なる学生さんや新人スタッフさんへの対応に悩まれたこと、ありませんか？やる気の出ない理由がどこにあるのか？やる気が出る方法は？脳の法則を学習しながら、やる気のスイッチを皆さんとともに考えてみたいと思います。
8月5日	鹿児島大学医学部 講師井上尚美	スキルアップに活かす目標管理を始めてみませんか	看護管理の目標は、看護職の職務満足度を高め離職防止の効果があると言われています。しかし、それには上司のフィードバックが関連するなど、ただ目標を立てればよいというわけではなさそうです。今回は、人間力を育みながら、潜在能力を引き出す目標管理について講義・演習を通して学びを深めていきます。
9月2日	鹿児島大学医学部 助教若松美貴代	周産期メンタルヘルスの考え方と実践	この講座は周産期に関わるスタッフがおさえておきたい産後うつ病をはじめとするメンタルヘルスの知識とその対応について、最近の新しい情報を踏まえながら学習します。また、臨床で実践できるように事例を通して3つの質問紙の使い方と妊娠期から産後うつ病のリスク因子が予測可能なツールの使い方、多職種との連携について学びます。
9月9日	霧島市立医師会医療センター 室長愛下由香里	あなたの知らない妊産婦の体のみかた?初級編?	痛みがある、尿失禁や臓器脱、股関節がひらかない方に何かしてあげたいとお悩みではないでしょうか。どうしてこんな事が起こるのか？解剖学的な視点を交えて、体を見ると、原因が見えてきます。原因がわかれば、これまで以上に的確なケアができるはず。これまでとは違った角度から人の体を見つめ直す機会になれば嬉しいです